

保存40年

報告書番号 No.AW18 Q 1078

報告年月日 平成30年12月05日

石綿分析結果報告書

(JIS A 1481-1及びJIS A 1481-3)

長崎県知事 中村 法道 殿

貴ご依頼による石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを報告致します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

1. 物件名称

物件名称	川口団地ほか3棟建築用仕上塗材石綿含有調査 川口団地
------	-------------------------------

2. 分析を実施した期間及び分析者

分析実施日	平成30年11月16日	～	平成30年11月28日
分析者			

3. 採取履歴

建物等の名称	川口団地	用途	集合住宅
施工年	—		
採取年月日	平成30年11月09日		
採取場所	外壁	採取部位	—
建材名称	仕上塗材	形状又は材質	吹付け材
試料の大きさ	10cm×10cm×3箇所		
採取者氏名			

4. 分析結果

定性分析結果	クリソタイル検出	定量分析結果(%)	0.73
形状	波状	多色性	無
消光角	直消光	伸長の符号	正
分散色	(//): 赤紫色	(⊥): 青色	

【所見】 推定含有率 : -
実施した前処理 : 定量のための灰化(450℃、1時間)
非アスベスト繊維 : セルロース
塗装の状態により、クリソタイルの検出箇所は特定できませんでした。

※アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)の最新版に留意し分析を実施しています。

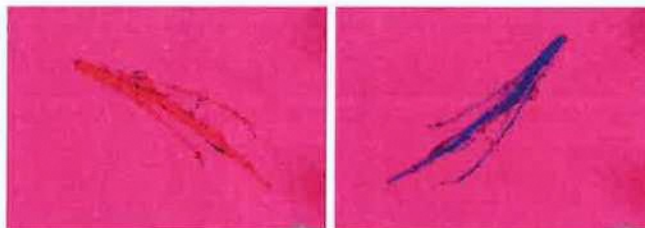
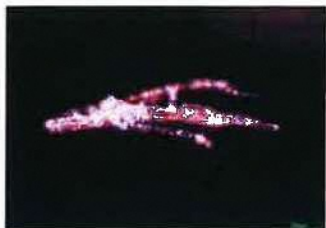
【使用機器】 (株)ニコン : 実体顕微鏡 SMZ745T ADVANTEC: 電気炉 KM-1302
(株)ニコン : 偏光・分散顕微鏡 ECLIPSE LV100ND (株)島津製作所 : X線回折装置 XRD-6100

5. 偏光顕微鏡による分析試料写真

(石綿名称: クリソタイル)

分散色(//) : 赤紫色

伸長の符号 : 正



25°C
屈折率 $n_D = 1.550$

6. 偏光顕微鏡によるアスベスト標準試料写真(参考資料)

【分散色】

クリソタイル (//): 赤紫色又は薄青色

アモサイト (//): オレンジ色

クロシドライト (//): 薄青色



25°C
屈折率 $n_D = 1.550$

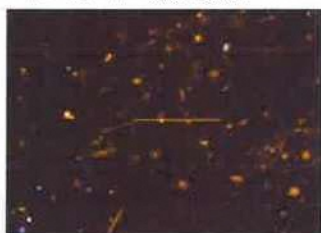
25°C
屈折率 $n_D = 1.680$

25°C
屈折率 $n_D = 1.700$

トレモライト (//): 黄色

アクチノライト (//): 黄色～赤紫色

アンソファイト (//): 黄色



25°C
屈折率 $n_D = 1.605$

25°C
屈折率 $n_D = 1.630$

25°C
屈折率 $n_D = 1.605$

【伸長の符号】

正
※1



負
※2



※1 繊維の端を左斜め上45° に傾けたときオレンジ色を示し、右斜め上45° に傾けたとき青色を示すのが「正」

※2 繊維の端を左斜め上45° に傾けたとき青色を示し、右斜め上45° に傾けたときオレンジ色を示すのが「負」

※ 分析試料写真の分散色は、建材の劣化状況や前処理等の影響により、標準試料写真とは異なる分散色を示す場合があります。

8. 検量線データ

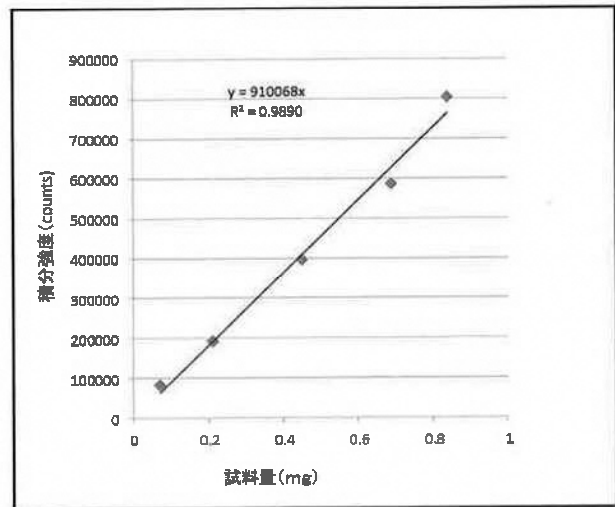
石綿の名称 (

クリソタイル

)

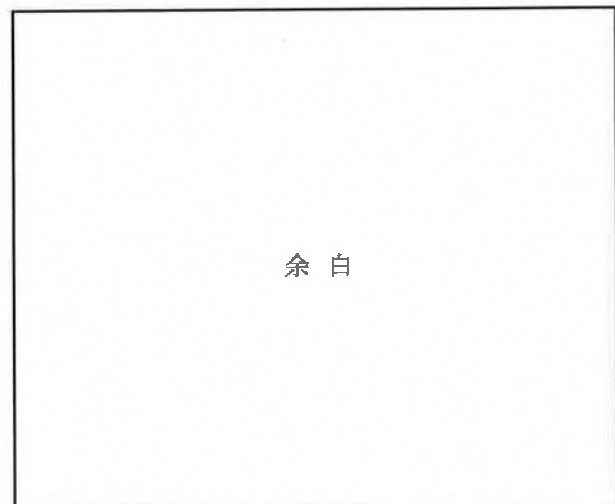
<標準物質の検量線1>

石綿の種類：クリソタイル



<標準物質の検量線2>

石綿の種類：



石綿の名称	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト	トリモライト/ アクチノライト	アンソフィライト
検出下限値 (%)	0.001				
定量下限値 (%)	0.005				
検量線の 決定係数 (R ²)	0.9890				

9. X線回折分析法による定量分析結果

9.1 一次分析試料からの石綿分析結果

・石綿名称 (該当なし)

試料 No.	一次分析 試料の秤量値 M ₁ (mg)	減量率 (r)	検量線から読み 取った一次分析試料中 の石綿質量 As (mg)	石綿含有率 (%)
1				
2				
3				
石綿含有率の平均				

9.2 二次分析試料からの石綿分析結果

・石綿名称 (該当なし)

試料 No.	一次分析 試料の秤量値 M ₁ (mg)	二次分析 試料の秤量値 M ₂ (mg)	残さ率	検量線から読み取った 二次分析試料中の 石綿質量 As (mg)	減量率 (r)	石綿含有率 (%)
1						
2						
3						
石綿含有率の平均						

9.3 三次分析試料からの石綿分析結果

・石綿名称 (クリソタイル)

試料 No.	一次分析 試料の秤量値 M ₁ (mg)	二次分析 試料の秤量値 M ₂ (mg)	残さ率	三次分析 試料の秤量値 M ₃ (mg)	検量線から読み 取った三次分析試料中 の石綿質量 As (mg)	減量率 (r)	石綿含有率 (%)
1	100.00	21.96	0.22	10.40	0.4040	0.80	0.6809
2	101.70	23.26	0.23	10.60	0.3965	0.80	0.6829
3	103.10	23.07	0.22	10.70	0.5021	0.80	0.8381
石綿含有率の平均							0.7340

石綿分析結果報告書

(JIS A 1481-1)

長崎県知事 中村 法道 殿

貴ご依頼による石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることをご報告致します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

1. 物件名称

物件名称	川口団地ほか3棟建築用仕上塗材石綿含有調査 川口団地
------	-------------------------------

2. 分析を実施した期間及び分析者

分析実施日	平成30年11月16日	～	平成30年11月28日
分析者			

3. 採取履歴

建物等の名称	川口団地	用途	集合住宅
施工年	—		
採取年月日	平成30年11月09日		
採取場所	軒裏	採取部位	—
建材名称	仕上塗材	形状又は材質	吹付け材
試料の大きさ	10cm×10cm×3箇所		
採取者氏名			

4. 分析結果

定性分析結果	クリンタイトル検出	定量分析結果(%)	—
形状	波状	多色性	無
消光角	直消光	伸長の符号	正
分散色	(//): 赤紫色	(⊥): 青色	

【所見】 推定含有率 : 0.1~5%

実施した前処理 : 灰化(450℃、1時間)、酸処理(2mol/L 塩酸)

非アスベスト繊維 : セルロース

試料は複数層に分かれており、中層付近の下地調整剤からクリンタイトルが検出されました。

推定含有率は目視によるものであり、必ずしもその範囲内ではない場合があります。

また、推定含有率5%未満では、定量分析の実施が推奨されています。

ただし、石綿含有建材として取り扱う場合は、その限りではありません。

※アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)の最新版に留意し分析を実施しています。

【使用機器】(株)ニコン : 実体顕微鏡 SMZ745T

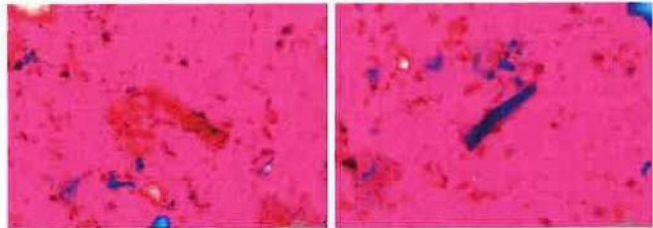
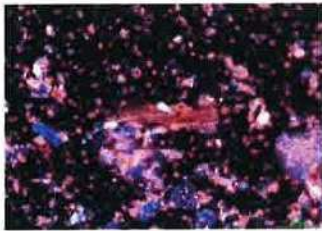
ADVANTEC: 電気炉 KM-1302

(株)ニコン : 偏光・分散顕微鏡 ECLIPSE LV100ND

5. 偏光顕微鏡による分析試料写真

(石綿名称: クリソタイル)
分散色(//): 赤紫色

)
伸長の符号: 正

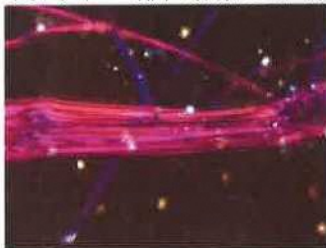


屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.550$

6. 偏光顕微鏡によるアスベスト標準試料写真(参考資料)

【分散色】

クリソタイル (//): 赤紫色又は薄青色



屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.550$

アモサイト (//): オレンジ色



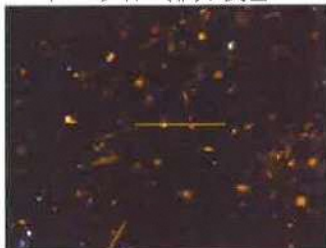
屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.680$

クロシドライト (//): 薄青色



屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.700$

トレモライト (//): 黄色



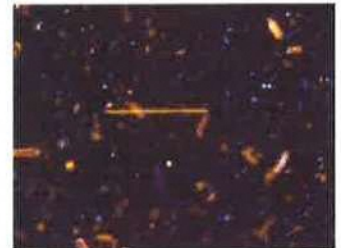
屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.605$

アクチノライト (//): 黄色～赤紫色



屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.630$

アンソファイト (//): 黄色



屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.605$

【伸長の符号】



※1 繊維の端を左斜め上45°に傾けたときオレンジ色を示し、右斜め上45°に傾けたとき青色を示すのが「正」

※2 繊維の端を左斜め上45°に傾けたとき青色を示し、右斜め上45°に傾けたときオレンジ色を示すのが「負」

※ 分析試料写真の分散色は、建材の劣化状況や前処理等の影響により、標準試料写真とは異なる分散色を示す場合があります。

石綿分析結果報告書

(JIS A 1481-1)

長崎県知事 中村 法道 殿

貴ご依頼による石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることをご報告致します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

1. 物件名称

物件名称	川口団地ほか3棟建築用仕上塗材石綿含有調査 川口団地
------	-------------------------------

2. 分析を実施した期間及び分析者

分析実施日	平成30年11月16日	～	平成30年11月28日
分析者			

3. 採取履歴

建物等の名称	川口団地	用途	集合住宅
施工年	—		
採取年月日	平成30年11月09日		
採取場所	2階外壁	採取部位	—
建材名称	仕上塗材	形状又は材質	吹付け材
試料の大きさ	10cm×10cm×3箇所		
採取者氏名			

4. 分析結果

定性分析結果	無検出				定量分析結果(%)	—	
形状	—	多色性	—	消光角	—	伸長の符号	—
分散色	(//): —	(⊥): —					

【所見】 推定含有率 : —
実施した前処理 : 灰化(450℃、1時間)、酸処理(2mol/L 塩酸)
非アスベスト繊維 : セルロース

※アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)の最新版に留意し分析を実施しています。

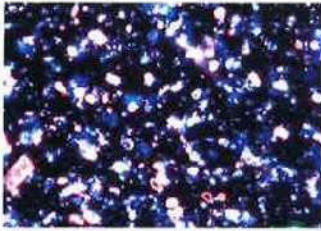
【使用機器】 ㈱ニコン : 実体顕微鏡 SMZ745T ADVANTEC : 電気炉 KM-1302
㈱ニコン : 偏光・分散顕微鏡 ECLIPSE LV100ND

5. 偏光顕微鏡による分析試料写真

(石綿名称: -)

分散色(//) : -

伸長の符号 : -

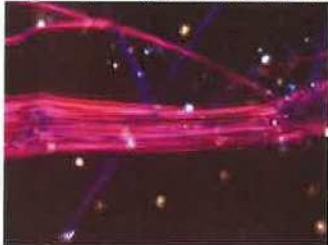


屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.550$

6. 偏光顕微鏡によるアスベスト標準試料写真(参考資料)

【分散色】

クリンタイル (//) : 赤紫色又は薄青色



屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.550$

アモサイト (//) : オレンジ色



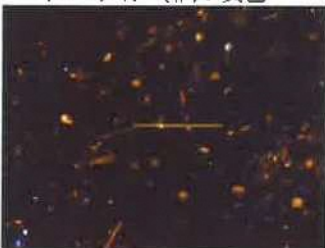
屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.680$

クロソドライト (//) : 薄青色



屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.700$

トレモライト (//) : 黄色



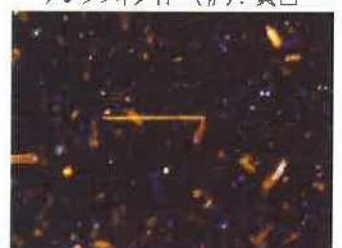
屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.605$

アクチノライト (//) : 黄色～赤紫色



屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.630$

アンソファイト (//) : 黄色



屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.605$

【伸長の符号】

正

※1



負

※2



※1 繊維の端を左斜め上45°に傾けたときオレンジ色を示し、右斜め上45°に傾けたとき青色を示すのが「正」

※2 繊維の端を左斜め上45°に傾けたとき青色を示し、右斜め上45°に傾けたときオレンジ色を示すのが「負」

※ 分析試料写真の分散色は、建材の劣化状況や前処理等の影響により、標準試料写真とは異なる分散色を示す場合があります。

石綿分析結果報告書

(JIS A 1481-1)

長崎県知事 中村 法道 殿

貴ご依頼による石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることをご報告致します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

1. 物件名称

物件名称	川口団地ほか3棟建築用仕上塗材石綿含有調査 川口団地
------	-------------------------------

2. 分析を実施した期間及び分析者

分析実施日	平成30年11月16日	～	平成30年11月28日
分析者			

3. 採取履歴

建物等の名称	川口団地	用途	集合住宅
施工年	—		
採取年月日	平成30年11月09日		
採取場所	1階外壁②	採取部位	—
建材名称	仕上塗材	形状又は材質	吹付け材
試料の大きさ	10cm×10cm×3箇所		
採取者氏名			

4. 分析結果

定性分析結果	無検出	定量分析結果(%)	—
形状	—	多色性	—
分散色	(//): —	(⊥): —	消光角
			—
			伸長の符号
			—

【所見】 推定含有率 : -
実施した前処理 : 灰化(450℃、1時間)、酸処理(2mol/L 塩酸)
非アスベスト繊維 : セルロース

※アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)の最新版に留意し分析を実施しています。

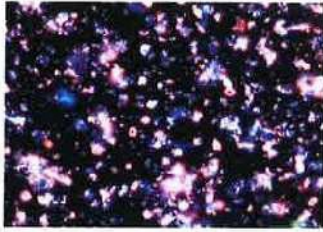
【使用機器】 顕ミコン : 実体顕微鏡 SMZ745T ADVANTEC: 電気炉 KM-1302
顕ミコン : 偏光・分散顕微鏡 ECLIPSE LV100ND

5. 偏光顕微鏡による分析試料写真

(石綿名称: —)

分散色(//) : —

伸長の符号 : —

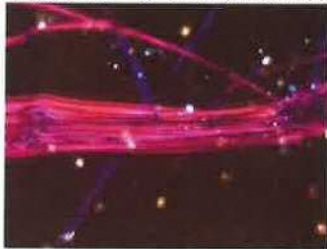


屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.550$

6. 偏光顕微鏡によるアスベスト標準試料写真(参考資料)

【分散色】

クリソタイル (//): 赤紫色又は薄青色



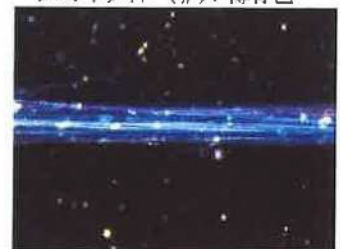
屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.550$

アモサイト (//): オレンジ色



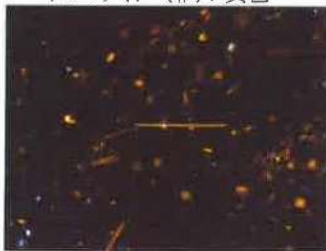
屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.680$

クロソドライト (//): 薄青色



屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.700$

トレモライト (//): 黄色



屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.605$

アクチノライト (//): 黄色～赤紫色



屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.630$

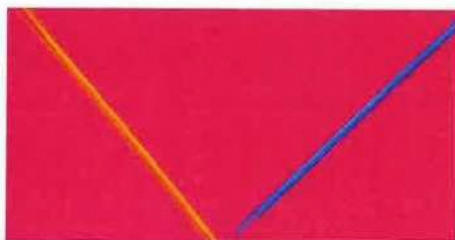
アンソフィライト (//): 黄色



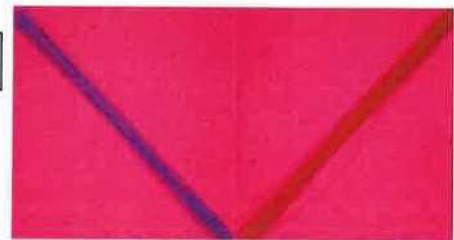
屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.605$

【伸長の符号】

正
※1



負
※2



※1 繊維の端を左斜め上45°に傾けたときオレンジ色を示し、右斜め上45°に傾けたとき青色を示すのが「正」

※2 繊維の端を左斜め上45°に傾けたとき青色を示し、右斜め上45°に傾けたときオレンジ色を示すのが「負」

※ 分析試料写真の分散色は、建材の劣化状況や前処理等の影響により、標準試料写真とは異なる分散色を示す場合があります。